

Guidebook for Women

出身コース別
現在の仕事内容

海保が取り組む
女性職員活躍推進

経験者は語る
育児時間勤務・
夫婦同居への配慮

女性のための
海上保安官
ガイドブック

私たちと一緒に
日本の海を守りませんか!

制作と運用のご紹介

マタニティ服



海のロマンは 女性にも。

海上保安庁では、昭和54年から海上保安学校において女子学生の採用を開始し、令和2年4月1日現在、1,066人が在籍しており、全職員の7.4%となっています。そのうちの55名が第四管区海上保安本部管内で活躍しています。また、海上保安庁では、政府方針に基づき、積極的に女性職員の採用と登用の拡大を図っており、女性職員が全国各地で活躍しています。女性職員の活躍の場は、巡視船艇や管区本部等での勤務のほか、外国語を用い外国人犯罪の捜査を行う国際捜査官、鑑識技術を用い客観的な証拠を収集する鑑識官、適切な情報提供により船舶交通の安全を確保する運用管制官、飛行機でのしよっ戒や救助活動を行う飛行士、航空機の整備を行う整備士など専門技術を駆使して活躍する職種から、海上保安部長や巡視船船長など、幹部職員としてその重責を担う職まで多岐にわたっています。

女性職員増えています！

海上保安庁には、
女性が活躍できる環境があります



希望と適性により男女差無く 様々なチャンスを得ることのできる職場

◎入庁理由

大学受験時に海上保安大学校を知ったことがきっかけです。

大学での勉強が、人命救助や犯罪の捜査など、やりがいを肌で感じる海上保安官の仕事に直結していることが魅力でした。

在学中に世界一周の遠洋航海が始まり、卒業後に航海士免許を取得後、女性にもパイロットへの道が開かれ、飛行機とヘリコプターの資格も取得しました。

◎記憶に残る仕事

悪天候の中、航空機で向かった現場第一線での救助活動のほか、陸上勤務で経験した、国内外の関係者の方々や、外国の海上保安関係機関の方々とのつながりなど、一人ではできない何かを、連携して成

し遂げることができた様々な経験一つ一つが記憶に残る仕事です。

◎現在の仕事

大学校を卒業後、北は北海道、南は鹿児島まで、現場第一線で航空機の機長としての業務、また、陸上においては本庁、管区本部等で行政官としての勤務を経験させていただきました。

現在、海上交通センターの次長として所長を支えながら、センター全般にわたり、職員の健康管理や事務の掌理を行っています。また、広く海上保安官の魅力を知っていただくために高校等を訪問する活動も実施しています。

◎女性の方へメッセージ

海上保安官の仕事は、海を舞台に様々な職種、職域が広がる魅力があります。希望と適性により男女差無く様々なチャンスを得ることのできる職場です。ぜひ海上保安官を選択肢の一つとして知っていただきたいです。



幹部職員からのメッセージ

海上交通センター次長

＼ いろんな現場で働く女性海上保安官 /



海上保安学校船舶運航システム課程 航海コース出身

海に少しでも興味がある方、
私達と一緒に日本の海を守りませんか!

◎入庁理由

公務員試験に挑戦していた時に、当時ちょうど申込期間中だったという理由で海上保安学校の試験を受験し、入庁しました。山間部出身で山に囲まれて育ったので、海で仕事をしたら面白そうだなと思ったのがきっかけです。

◎現在の仕事

航海科職員として操舵、見張り、他船との無線通信なども行ったりしています。また、2021年であれば、オリンピック・パラリンピックにも派遣され、海上警備に従事しました。巡視船勤務ですので、時には荒天のなかの救助作業など厳しい環境下で職務を遂行するときもありますが、海上の

安全及び治安の確保は、私の家族を含む国民生活に直結しますので、非常にやりがいを感じています。

◎休日の過ごし方

買い物に行ったり、家族や友だちとごはんを食べに行ったりすることが多いです。長い航海のあとは、1日中家で過ごし、体を休めます。

◎女性の方へメッセージ

巡視船での勤務は、厳しい場面もありますが、航海中にイルカなどの野生動物に遭遇したり、きれいな虹が見られることもあり、心が癒されます。

船は、男の職場というイメージがあるかもしれませんが、私が乗っている巡視船で

は5人の女性職員が乗船しており、女子トークで盛り上がり、困ったときには相談もできます。海に少しでも興味がある方、私達と一緒に日本の海を守りませんか!



海上保安学校船舶運航システム課程 航海コース出身

人間としても非常に成長できる職務という
認識で日々業務を行っています

◎入庁理由

私が海上保安官を進路に選んだきっかけは、家族を海の事故で亡くしたことです。離島で生まれ育ち、海と船は切っても切り離せない重要な生活の一部として存在していたので、家族の事故をきっかけに海上保安官の任務を知り、自分も海の安全を守る仕事に就きたいと考え入庁を決意しました。

◎現在の仕事

現在は海上保安部の管理課職員として、総務業務、外部との総合的な窓口となる業務を担当しています。現場第一線で活躍する巡視艇乗組員や、保安部に所属する様々な職種の保安官がよりよく仕事ができるようバックアップする重要な部署

であり、また、渉外業務などの対外的な調整を行う業務も多々あるので、人間としても非常に成長できる職務という認識で日々業務を行っています。

◎休日の過ごし方

育児の傍ら「自分だけのリラックスした時間」は正直ほとんどありませんが、そんな中でも家族と季節を感じながらの散歩や、最近は息子とお菓子作り、保育園グッズの作成…、子供の成長に合わせて私自身も家事・育児のスキルUPを図っています(笑)。

◎女性の方へメッセージ

どんな仕事でも始めるときは不安がありますし、自分(女性)にできるかどうか戸惑うことはもちろんあると思います。です

が、私は自分で思っていた以上に「できること」「やりたいこと」を海上保安庁で見つけることができました。皆さんも海上保安庁で新しい自分を見つけませんか!?



機関コース出身

警察のような仕事をしたいくて 海上保安官を志望しました



小型巡視艇
機関科

◎入庁理由

私は元々警察官を志望していましたが、高校が水産高校だったので、水産高校で学んだことを活かして、警察のような仕事をしたいと思い海上保安官を志望しました。

◎現在の仕事

巡視艇に乗り、プレジャーボート等に対する立入検査やライフジャケットの着用といった安全指導、密漁取締り等の警備活動や、船の曳航等の救難活動を行い、海の治安を守っています。

◎休日の過ごし方

友人とカフェ巡りをして、おいしいお店を探したり、サバイバルゲームで体を動かしたりして遊んだりしています。

◎女性の方へメッセージ

最近は女性でも船艇の勤務がしやすいように環境や設備が整っていますし、福利厚生も充実しているので、女性が働きやすい職場になっています。



機関コース出身

「こんなことをしたい」「こんなことができる ようになりたい」という希望を叶えられる

◎入庁理由

2014年に小笠原諸島と伊豆諸島周辺海域で、中華人民共和国の漁船によるサンゴの大規模密漁がありました。これをきっかけとして、色々調べていく内に四方を海に囲まれた海洋大国であることに起因する日本の様々な問題に触れ、「密漁、密輸、密航」などを取締まる組織の一員として働いてみたいと思い、志望しました。

◎現在の仕事

署員としては、救難や環境防災に関する事務を担当しています。これまでの船艇勤務とは違い、関係部署や関係機関との調整などサポート的な役割を担っています。その他、韓国語の国際捜査官の指名を受けています。国際捜査官としては、他

管区への派遣などを通じて活動を行っています。

◎休日の過ごし方

家電が好きなので、大型家電量販店に行き色々な最新家電を眺めたり、自宅で映画を見たりして過ごしています。最近は高級な炊飯器にとっても興味があり、先日家電量販店に見に行ってきました。

◎女性の方へメッセージ

私は、「密漁、密輸、密航」などを取締りたいという入庁理由と同じ気持ちで語学研修を希望し、現在は韓国語の国際捜査官の指名を受けています。国際捜査官としての仕事は沢山ある訳ではありませんが、やりがいを感じる瞬間はあります。「こんなことをしたい」「こんなことができ

ようになりたい」という希望を叶えられて、そのために頑張り続けられる職場が海上保安庁であれば嬉しいなと思います。



海上保安署
警備救難業務



周囲から信頼される
人間へ成長したい

海を相手にする仕事なので大変なことも多いけど、
その分やりがいや達成感を得られる



海上保安部
総務業務

海上保安学校船舶運航システム課程
主計コース出身

大好きな海の近くで
笑顔を守る仕事ができる

◎入庁理由

笑顔を守れる警察官になりたいと思っていました。調べたり聞いたりしていくうちに、海の警察官である海上保安庁に魅力を感じました。大好きな海の近くで笑顔を守る仕事ができる海上保安庁を志望しました。

◎現在の仕事

庶務全般と福利厚生事務等、職員的生活にかかる手続きなどです。

◎休日の過ごし方

剣道で体を動かしてストレス発散したり、スキューバダイビングできれいな景色や魚をみて心機一転しています。

◎女性の方へメッセージ

海上保安庁では女性保安官が多種多様な業務に携わり活躍しています。海を相手にする仕事ですので大変なことも多いですが、その分やりがいや達成感を得ることができます。海上保安庁で

一緒に働いてみませんか？



海上保安学校船舶運航システム課程
主計コース出身

海上保安官は、女性だからこそ
活躍できる場面や業務があります

◎入庁理由

私は、水産高校出身で在学中から海に携わる仕事に就きたいと希望していたことから、海上保安庁に入庁しました。

また、主計科を選択したのは、高校の実習船の炊事長が作る料理が美味しく、食事が乗船実習中の楽しみだったので、自分もそんな料理を提供したいと思ったためです。

◎現在の仕事

現在は、調理、被服請求、物品管理といった主計科業務に加え、航路しよう戒、警備、救難、刑事等の、多岐にわたる業務を行っています。

主計科業務のメインである調理に関しては、新型コロナウイルスの影響で外食や

会食が思うように楽しめない分、船内の食事を楽しんでもらえるように、献立に季節の料理を取り入れる等の工夫をしています。

◎休日の過ごし方

休日は、コロナ禍での感染対策に気を付けながら、リフレッシュも兼ねてドライブしています。

現在の勤務地は、海や山に囲まれた風光明媚な場所であり、ドライブを通して四季の訪れを感じています。

◎女性の方へメッセージ

例えば、航路しよう戒では船外マイクを使用して、他船にアナウンスをする事があります。そこでは、声が通りやすい女性の方が相手船に内容が伝わりやすく、危険を

いち早く回避させることができます。

このように海上保安官は、女性だからこそ活躍できる場面や業務があり、やりがいにも溢れた職業です。



大型巡視艇
主計科



船舶が遭難した際に一番に連絡が来るのは、 私たちが担当する部署です



海上保安学校

情報システム課程出身

海上保安官ならではの 業務もたくさんあります

◎入庁理由

高校生の時にテレビで海上保安庁の特集をみて海上保安官に興味を持ち、調べていくうちに海上保安官になりたいと思い、志望しました。

◎現在の仕事

主に海上保安庁緊急電話118番通報の受報、船舶との無線通信を行っています。事案発生時の初動対応をする部署であるため、業務中は常に緊張感をもって勤務しています。事件事故の対応で救難の第一線で働いていることにやりがいや誇りを感じています。

◎休日の過ごし方

家で映画を見たり、自炊を試してみたり、最近では体力が落ちたと感じるため筋トレなどをしています。

◎女性の方へメッセージ

海上保安庁には様々な業務があり、他ではなかなか経験することのない業務や海上保安官ならではの業務もたくさんあります。辛いことや厳しいこともあります。年々女性の保安官も増えたことにも伴い、働きやすく、やりがいをもって働くことができる職場だと思います。



海上保安学校

情報システム課程出身

海に関する様々な業務に携われる ことに魅力を感じました

◎入庁理由

中学生の時にテレビで見た船舶事故のニュースに衝撃を受け、その際に海での事件事故に対応する海上保安庁を知りました。男性ばかりで体力勝負の職業というイメージでしたが、調べていくうちに女性職員もいることや、他にも海に関する様々な業務に携われることに魅力を感じ志望しました。

◎現在の仕事

課内の業務予定に関すること、職員の出張関係、その他事務に関することや、無線局検査に関する測定に立ち会うこともあります。最近異動となり、わからないこと

も多くあり勉強の毎日ですが、周りの方々のご指導やサポートにより毎日充実して業務ができています。

◎休日の過ごし方

家族と買い物等に出かけたり、ドライブをして過ごしています。

◎女性の方へメッセージ

まだまだ「女性の海上保安官は珍しいね」との声を掛けられることも多くありますが、幅広い業務を行う海上保安庁で女性が活躍できる場面は多くあり、それに伴い環境の整備も進んでいます。皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています！





海上
交通センター
運用管制業務
(交替制)

海上交通センター 運用管制官

プライベートの時間も確保しやすく、
女性向けの設備も整った働きやすい環境

◎入庁理由

海の近くで生まれ育ち、物心つく頃から親に連れられて巡視船の体験航海や一般公開に参加していたため、海上保安庁は身近な存在でした。巡視船や近所の海上保安部の見学を繰り返すうち、巡視船に乗る海上保安官の姿がかっこよく、憧れの存在となりました。船が好きだったので航海士の免許を取れる学校に進学し、卒業後に採用試験を受けました。

◎現在の仕事

名古屋港は狭い上に多くの船が入り出すため、衝突や乗揚げ等、船舶事故の危険性が高い場所です。レーダーを使って

港全体の動きを把握し、無線を使って船に対して必要な情報を伝えたり、大型船の通る時刻を管理することで、事故を防ぎ船の安全な運航を支援しています。

◎休日の過ごし方

趣味で絵を描いたり、録画したアニメを見て過ごすことが多いです。また動物が好きなので、近所のお寺で鳩にエサをあげたり(お寺公認のエサがある場所です)、水族館に行ってシャチを眺めたり、プライベートもとても充実しています。

◎女性の方へメッセージ

海上保安官は、海と人を守る仕事です。運用管制官は交代での当直勤務なので、

プライベートの時間も確保しやすく、女性向けの設備も整った働きやすい環境です。船の安全を守ることが日常生活を支えていると感じられ、公私ともに充実しています。海上保安官として、一緒に海の安全を守りましょう!



海上交通センター 運用管制官

自分自身が提供した情報で
海難を回避した時の達成感は大きい

◎入庁理由

私の地元は海が近くにあり、巡視艇を見かけることが多かったため、海上保安庁に興味を持ち、海上保安庁を調べて知っていくうちに人と海を守っていることに魅力を感じ、私もその一員になりたいと思い、当庁を志望しました。

◎現在の仕事

船舶の安全を確保するため、船舶に対し、情報提供を行っています。万が一、海難が発生した場合、経済に大きく影響を及ぼすことから、自分自身が提供した情報で海難を回避した時の達成感は非常に大きく、とてもやりがいのある仕事だと感じて

います。

◎休日の過ごし方

私が住んでいる所は、美味しい野菜や肉などが溢れているので、料理を作り、お酒を飲みながら心もお腹も満たすことでフレッシュしています。

◎女性の方へメッセージ

海上保安官の業務は、多岐にわたる分やりがいのある仕事です。特に通信において、女性の声は明瞭であり、重宝されています。男女関係なく活躍できる職場です!一緒に素晴らしい日本の海、守ってみませんか?

海上
交通センター
運用管制業務
(交替制)



自分の声一つで海を守り、
人の役に立つことができる

海上保安学校

海洋科学課程出身

海上保安本部
海洋情報
業務

安心して働くための職場環境を
職員一丸となって作り上げています

◎入庁理由

専門学校で就職先を探していたところ、海上保安庁の多岐にわたる業務や勤務地の数、業務の専門性に興味が湧きました。水泳などをしており海が好きだったことや、防災に関わる仕事に就きたかったため、海上保安庁を希望しました。

◎現在の仕事

船舶が安全に航行するために必要な「海図」を作成するため、海の水深や地形を測る「水路測量」という仕事や、同じように民間企業が実施した水路測量の審査などを行っています。出張など外で体を動かす仕事と、椅子に座ってデータを整理する

仕事と半々くらいで身体的にもバランスよく、日々新しい技術や知識が身につく、難しいながらも楽しい仕事です。

◎休日の過ごし方

旅行が好きで、年休や夏季休暇を利用してよく行っています。ウインドウショッピングが好きなので、休日や仕事が早く終わった時にはいつも散歩しています。

◎女性の方へメッセージ

海上保安庁の仕事は、船に乗り第一線で活躍する方もいれば、後方で船舶の安全を守ったり、職員のサポートをする仕事もあります。自分がやりたい仕事を見つけられ、安心して働くための職場環境を職員

一丸となって作り上げています。ぜひ一緒に働きましょう!



海上保安官の1日 Daily Routine

●巡視船乗組員の場合 (広大な海域の安全・治安を確保する)

巡視船は広い海域を担当しており、日帰りから数週間程度、洋上で過ごすことがあります。24時間体制でパトロール等を行うため、乗組員は交代で船務にあたります。基本的には、0~4時と12~16時勤務、4~8時と16~20時勤務、8~12時と20~24時勤務の三交替制で勤務しています。ここでは三直当直の一例を紹介します。



●運用管制官の場合 (船舶の往来が激しい海域の安全な航行を支援する)

運用管制官は、24時間365日、レーダー等を使い、船の動きを把握し、船の安全運航に必要な情報の提供や、交通の整理などの業務を行っています。



◎朝 霧発生時の情報提供

◎朝、夕刻 ラッシュアワーの対応

◎朝 漁船、小型船への対応

◎昼 業務研修 大型タンカー等に対する情報提供



海上保安庁の 女性職員活躍推進への取組み

● マタニティ服の制作と運用

妊娠期間に制服を着用する職員に対し、マタニティ服を貸出しています。(平成30年4月～)

● 新造船の建造時における女性諸室の整備

巡視船の建造に際し、女性諸室(風呂、便所、洗濯室)における機器や家具、手すりの配置等について、実際に巡視船艇で勤務する女性職員からの意見を参考にして、女性職員の視点に立った施設整備を実施しています。

● メンター制度

若手職員が不安や疑問を解消し、円滑に業務遂行を行うとともに、高い意欲を持って長期的な職業生活形成を図るため、先輩職員が助言・指導を行う制度です。

● 本庁及び各管区本部における女性研修等

職員の意識改革や学生に対する研修、人事担当とのキャリア面談を実施しています。

● 仕事と家庭の両立支援制度の利用促進

管理職員をはじめ、各職員に対し両立支援制度を紹介したり配偶者等の出産予定日が近づいた男性職員に対し、男の産休・育児休業など、両立支援制度の利用を促進しています。

女性職員が制服に代えて着用できるマタニティ服



女性用品等の収納スペースを確保



第四管区海上保安本部の 女性職員活躍推進への取組み

第四管区海上保安本部では、育児休業中に職場の情報がないため不安であったとの意見を受け、不安の解消と意欲の向上に向けた取組として、四半期ごとに育休定期便(当庁の情勢や管区の現状が分かる資料)を送付し、職員に疎外感を感じさせないよう情報共有を図る取組を行っています。

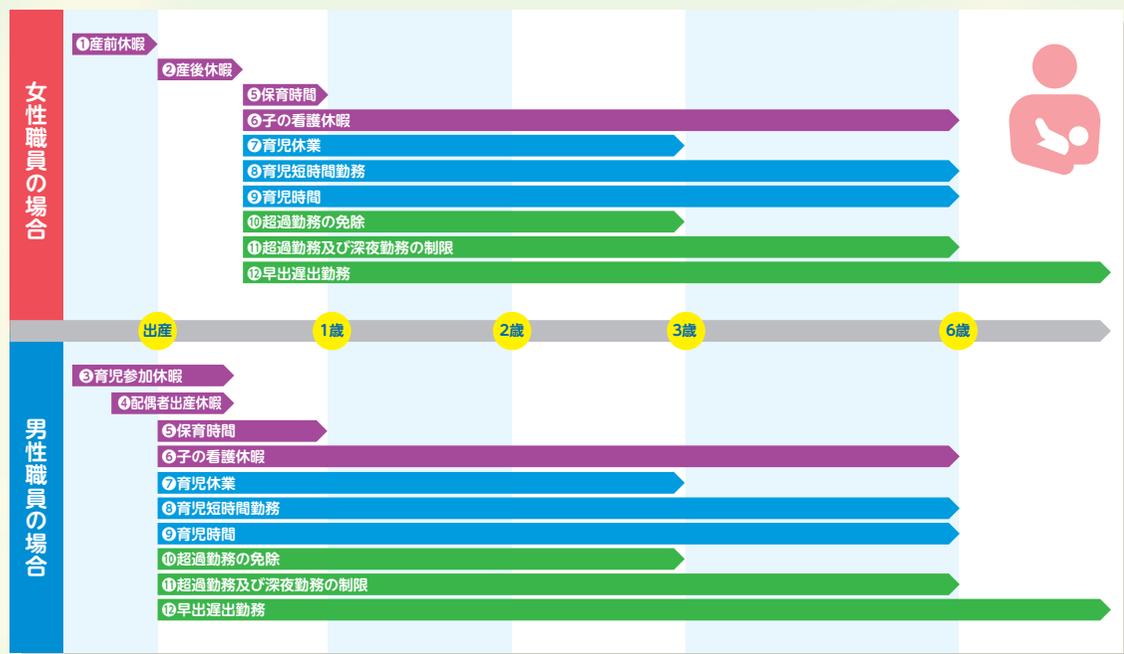
また、育児休業中の職員から、職場復帰に向けた面談の希望があれば、人事課担当者が面談を実施し、職場復帰への不安解消に努めています。

定期便を読む
育児休業中の職員



様々なライフイベント後も
安心して働き続けられる職場環境づくりに
これからも取り組んでいきます

仕事と育児の両立のための主な支援制度と利用可能期間



両立支援制度の概要

～育児や介護と仕事を両立するための制度が用意されています～

妊娠・出産	育児	介護	両立支援制度	制度の概要
◇			深夜勤務及び時間外勤務の制限	妊産婦である職員が深夜勤務・時間外に勤務しないこと
◇			健康診査及び保健指導	妊産婦である職員が健康診査・保健指導のために勤務しないこと
◇			業務軽減等	妊産婦である職員が業務を軽減し又は、他の軽易な業務に就くこと
◇			通勤緩和	妊娠中の職員が交通機関の混雑を避けるため始業又は終業時に1日1時間まで勤務しないこと
◇			休息又は補食	妊娠中の職員が母体・胎児の健康保持のため、適宜休息し、補食すること
◇			①産前休暇	産前6週間前(多胎妊娠の場合は14週間前)から出産の日までの休暇
◇			②産後休暇	出産の翌日から8週間を経過する日までの休暇
■			③配偶者出産休暇	妻の出産に伴う入院の付添い等を行うための休暇(2日)
	■		④育児参加のための休暇	妻の産前産後期間中に、未就学児を養育するための休暇(5日)
	○		⑤育児休業	3歳未満の子の養育するための休業
	○		⑥育児短時間勤務	未就学児を養育するため、通常より短い勤務時間(週19時間25分等)で勤務すること
	○		⑦育児時間	未就学児を養育するため、1日2時間まで勤務しないこと
	○		⑧保育時間	1歳未満の子の授乳等を行う場合に30分勤務しないこと(1日2回まで)
	○		⑨子の看護休暇	未就学児を看護するための休暇(年5日(子が2人以上の場合10日))
		○	介護休暇	家族の介護を行うための休暇(通算6月。3回まで分割可)
		○	介護時間	家族の介護を行うための休暇(連続3年の間に1日2時間まで)
		○	短期介護休暇	家族の介護を行うための休暇(年5日(要介護者が2以上の場合は10日)まで)
	○	○	⑩超過勤務の免除	3歳未満の子の養育又は家族の介護のため、超過勤務をしないこと
	○	○	⑪深夜勤務の制限	未就学児の養育、家族の介護のため、深夜(午後10時から午前5時)に勤務しないこと
	○	○	⑫超過勤務の制限	未就学児の養育、家族の介護のため、「1日に24時間、1年に150時間」を超えて超過勤務をしないこと
	○	○	⑬早出遅出勤務	未就学児の養育、小学生の放課後児童クラブへの送迎、家族の介護のため、勤務時間帯を変更
	○	○	フレックスタイム制	総勤務時間数を変えずに、日ごとの勤務時間数・勤務時間帯を変更
◇	○	○	休憩時間の短縮	未就学児の養育、小学生の送迎、家族の介護、妊娠中通勤配慮のために、職場にいる時間を短縮

◇ 女性のみ対象制度 ■ 男性のみ対象制度 ○ 男女とも対象制度

両立支援制度取得者の声

本部総務課係員

令和2年1月1日から産前休暇に入り、2月に長男を出産、その後8週間の産後休暇と育児休業を1年2か月取得し、令和3年8月1日に総務課企画係として復職しました。育休中はまるまるコロナ禍ということもあり、子育て支援センターや児童館はほとんど利用できず、帰省や旅行も全くできなかったため、主人の休みの日以外のほとんどを息子と2人きりで過ごしました。

育休にはいつからは社会との繋がりが無くなり、疎外感を感じることもありましたが、人事課担当者の方が四半期に1回「育休定期便」として当庁の情勢や管区の現状が分かる資料を郵送してくださったので、「家族以外に自分のことを覚えていてくれる人が居るんだな」と定期便が届くことが楽しみの一つでした。届いた定期便は息子に読み聞かせたり、一人時間にゆっくり読むことで復職後の生活を想像することができました。復職後の現在は育児時間制度を利用し、課内の皆様のご理解・ご協力のもと、勤務時間内は企画係として、時間外は母として、育休中とは違うメリハリのある毎日を過ごすことができています。



本部人事課係員

私は令和2年に当庁職員と結婚しました。主人は他管区で勤務していたので、結婚後は夫婦同居を希望しました。翌年には、主人の四管区への異動が決まり、新婚生活がスタートしました。夫婦での同居生活は、慣れない家事に追われながらも、結婚したという実感が沸き、とても充実しております。プライベートの充実が、仕事への意欲向上へも繋がっていると感じます。私は別居している期間は現場第一線での仕事をしていましたが、同居後は事務系の仕事を希望し、現在は総務部人事課で、職員の給与に関する仕事をしています。ライフワークバランスを重要視する海上保安庁では、夫婦同居やライフステージに合った職種への異動の配慮を行っています。海上保安庁の特殊で多様な業務上、全員が必ず希望する職種、地域へすぐに異動できるというわけではありませんが、性別に関係なく事務系から現場第一線まで様々な経験ができることは、海上保安庁の強みだと思います。



本部情報通信課係員

私は2年間の育児休業をいただいた後、情報通信課係員として復職し、育児時間勤務制度を活用して働いています。主な担当業務は、四管区内の無線局にかかる申請、課内庶務業務です。復職当初は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、保育園休園や通勤抑制による時差出勤等により様々な生活様式の変化があり、なかなか生活リズムが定まりませんでしたが、半年ほど経つと業務内容や子育てと両立するための生活リズムを掴めるようになりました。

娘は2歳となりイヤイヤ期真っ盛りのため、時間までになかなか思い通りの準備ができず慌ただしい毎日を過ごしておりますが、職場の皆様のご協力・ご理解のもと、仕事と育児のメリハリのある生活を送らせていただいております。今後もお母さん海上保安官が増えることを期待しています。



リクルートセンターのご案内

～採用等に関するお問い合わせはお気軽にどうぞ!!～



第四管区海上保安本部では、新型コロナウイルス感染症予防対策により、「新しい生活様式」となるこれからは、海上保安官の採用に関して、高校や大学等へ直接訪問する機会が減少するため、電話やメールなどによる問い合わせが増加するものと予想し、採用に関する当庁を希望する方からの問い合わせ・要望について、随時対応し新型コロナウイルス感染症拡大下において制限されている職員募集活動を補完する目的でリクルートセンターを開設しています。

リクルートセンターでは専門ダイヤルにおいて対応を行うほか、海上保安官による少人数個別説明会を開催しています。



直通TEL **052-652-0826**

申込先E-mail jcg4soumu1-5u5s@mlit.go.jp

採用HP <https://www.kaiho.mlit.go.jp/recruitment/>



私たちと一緒に日本の海を守りませんか!



第四管区海上保安本部

TEL 052-661-1611
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/04kanku/>



YouTube



Twitter



Instagram

